

助成受給団体	宮古地区防犯協会連合会
事業の名称	管内「こども110番の家」看板補充支援
実施期間	平成24年8月1日から同年11月30日
事業内容	
当地区では、東日本大震災で約300件の「こども110番の家」が失われました。被災後、復興が進まず、建物の無い場所や仮設住宅付近が通学路になるなど、環境が大きく変わり子供の見守り体制の再構築が急がれました。 そこで新たな「こども110番の家」の設置、流失した看板の補充を行いました。	
事業の成果	
県内では初となる、仮設住宅へ「こども110番の家」を依頼し、看板を掲示したことにより、子供達や女性の安全確保が期待され、仮設住宅での防犯意識高揚が図られました。 地域住民からは「子供達の通行が多い場所に、この看板があるだけで安心できる」と歓迎されました。	
今後の課題	
'こども110番の家'を普及させるとともに、児童・生徒・保護者へ安全対策の重要性を伝える活動を進めていきます。	

